

---

# 体で覚えるファシリテーション ～PFへの誘い～

---

2006.1.26

Video Application Specialist Team

天野良

# この資料について

- この資料は、天野良が、所属している会社の社内勉強会を行った際に使用したものを元に、公開用に固有名詞の置換や、KPT の内容を反映したものになっています。
- 社内勉強会ですが、別チームで一緒に仕事をしたことがないから知らない人同士が混じっています。最終的な参加者は 14 人でした。
- 参加者には事前の「宿題」として、A4 の紙に偏愛マップを描いてくることをお願いしていました。

## まずは 3,4 人のグループを作ってください

- 5分間で、  
「2005年に、自宅からもっとも遠くまで行った時の話」  
を、グループ内で発表しあってください。
- 必ず全員が発言すること。
- なるべく、知り合いだけのグループにならないようにしてください。
- あ、まずは名前を言おうね。
- まだ偏愛マップは見せないで下さいな。

---

# アイスブレーキング

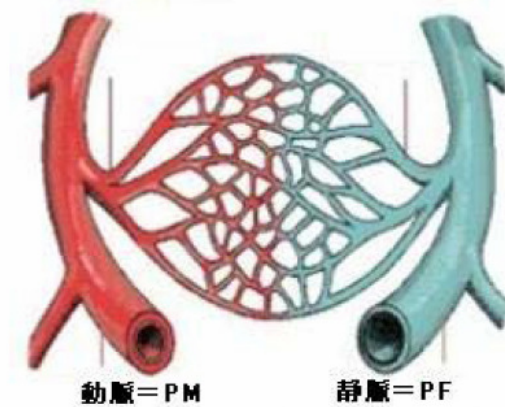
- 会議ファシリテーションの基本的な技です。
- 会議の冒頭になにかの仕掛けを用意することで、参加者の緊張をほぐして、その後の進行をスムーズにもっていきやすくします。
- 例)
  - Gプロジェクトの朝の会の挨拶
  - Good And New!
  - etc...

# プロジェクトファシリテーションとは

- アジャイル開発コミュニティ界隈ではおなじみの平鍋さんが提唱している概念です。
- 「現場力の向上」によってプロジェクトを成功に導くためのさまざまな取り組み。
- 「QoEL の向上」も重要な目的地。
  - 仕事、楽しい？
- 既存のいくつかの要素。
  - ファシリテーション
  - コーチング
  - カイゼン
  - エンジニア論
  - etc...

# プロジェクトマネジメントとは違うの？

- プロジェクトを成功に導く、という目的は同じですが、**アプローチの仕方が違います。**
- 守備範囲の違い、と言えるかもしれません。
- **チームの力を引き出す**ことに重点をおきます。
- PM
  - コマンド / コントロール
- PF
  - **リーダーシップ / コラボレーション**



---

# マインドが重要

- PMは「マネージャー」によるトップダウンな活動がメインになりますが、PFはPFマインドを持っていればどんな立場の人でも始められます。
- 性善説がベース。

---

# PF について詳しく話す前に

- なるべく、余り知らない人同士で、ペアを作ってください。



---

# 他己紹介

- まず、30秒間で相手について、想像したことでいいので、お互いに紹介をしてみてください。
- もちろん、当たっている必要はありません。

---

# 自己紹介

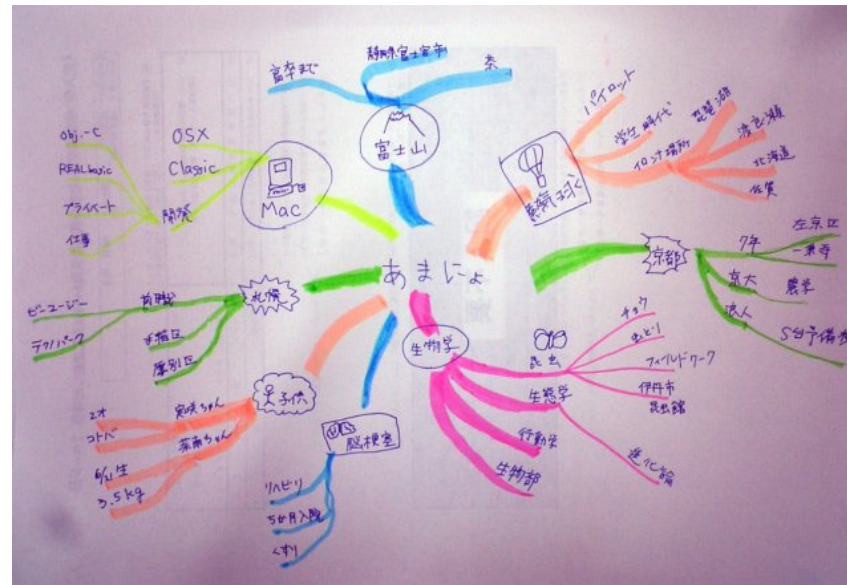
- 今度は 60秒間で、自己紹介をし合ってください。
- 偏愛マップはまだですよ。

# どうでしたか？

- 他己紹介の30秒と、自己紹介の60秒、**どちらが長く感じました？**
- 他人について考えることが、大変だということが理解してもらえたでしょうか。
- でも、**プロジェクトは他人の集合**なのです。
- プロジェクトをうまくやっていくためには、想像力だけではダメで、いろいろな仕組みを用意して補完しないといけません。

# 偏愛マップを解禁します！

- ペアで、互いの偏愛マップを見せっこしてください。
- 7分ほど。



---

# 偏愛マップ、おもしろいでしょ

- プロジェクトのキックオフで使ってみる。
- 特に初めてのメンバが多い時には有効。
- でも経験上、良く知っているつもりの人でも、意外な発見があります。
- 自分自身の興味の棚卸しにもなるし。
- 「共通の話題を探る」フェーズが思いっきり短縮できるし。
- 見える化、重要。

# 価値・原則・プラクティス

- アジャイル開発方法論では、よく**価値・原則・プラクティス**という分け方をしますが、PFもこれに倣っています。
- 5つの価値
  - コミュニケーション・行動・気づき・信頼関係・笑顔
- 5つの原則
  - 見える化・名付け・初め良ければ全て良し・リズム・「問題 対 私たち」の構図
- 原則から導かれる様々なプラクティス

---

# 価値1: コミュニケーション

- チームとして個人の総和を超える成果を上げるために、「コミュニケーション」を価値とします。
- 対話が基本です。

---

## 価値2: 行動

- 価値を現実のものとするために, そして気づきを得るために, 「行動」を価値とします.
- 実践こそが常に何かを運んでくれる。



---

## 価値3: 気づき

- 個人そしてチームが成長するために、「気づき」を価値とします。
- 毎日なにかに気づいていますか？

---

## 価値4: 信頼関係

- 行動を起こす勇気の源として、「信頼関係」を価値とします。
- 問題は皆で解決するものだ、という安心感。

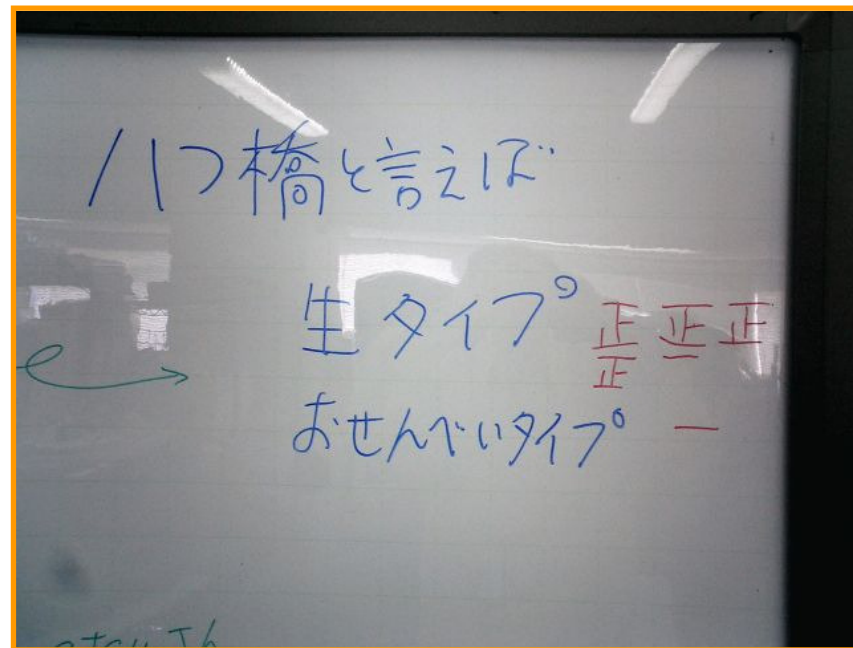
---

## 価値5: 笑顔

- 人生の貴重な時間を楽しくすごすために、「笑顔」を価値とします。
- PF の価値のうち、私の最も気に入っているものです。
- QoEL のメトリクス指標。

# 原則1: 見える化

- コミュニケーションの元となる情報は、必要な人全てに同じように「見えて」いる必要があります。



## 原則2: 名付け

- 気づきを定着させ、そして流布するためには、名前がついていることが重要です。



Sプロジェクトの「バナナワニ園」

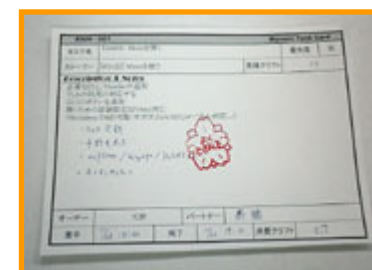
---

## 原則3: 初め良ければ全てよし

- 信頼関係と笑顔を築くため、まずは「良いこと」から入ります。
- アイスブレイキングもそのひとつ。
- コードレビューではまず良かった点を出す、とか。

# 原則4: リズム

- 行動を起こすため、リズムを意識しましょう。リズムによって、前に進みやすくなります。
- 例えば、Gプロジェクト のリズム
  - タスク毎のサインアップと自己評価ハンコ
  - 毎日 10:30 から朝の会
  - 週に一度の定例
  - イテレーション毎のレビュー会と学級会



# 原則5:「問題 対 私たち」の構図

- “You vs. Me” ではなく、“Problem vs. Us” です
- 「問題 対 私たち」になるようにちょっとした工夫を重ねることが、信頼関係のベースになります。



Rプロジェクトの「スタンダップミーティング」

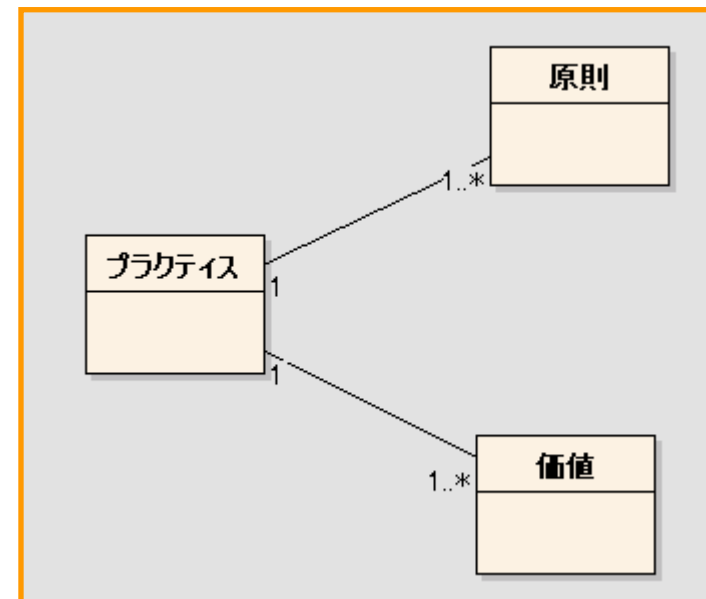


## 原則6: あなたにしか出来ない大事なこと

- 現在の PF のページにはない原則ですが、私が常々心がけることにしたい原則です。
- 「**機械にできることは機械に**」やらせて、自動化できる部分はそうすることで、**人間がやるべきもっと大事なコト**に注力し、コミュニケーションと行動の時間を作り出します。
- 例
  - 自動化されたビルド／インテグレーション／デプロイ
  - デイリーテストのバッチ実行

# そして、プラクティス

- 「価値」を得るためには、「原則」にのっとして、具体的なプラクティスを行います。
- あるプラクティスは 1つの原則、1つの価値に対応しているわけではありません。
- むしろ、複数の原則に従って、複数の価値をもたらしていることが普通です。



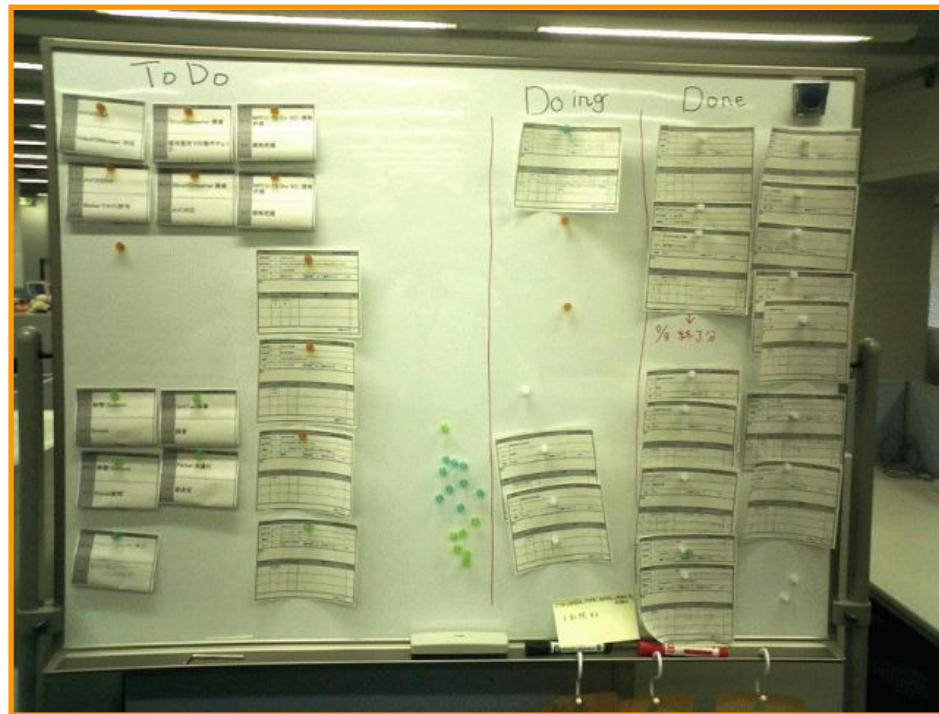
# どこから入れば？

- 人によって、あるいはプラクティスの内容によって2つのパターンがあるでしょう。
  - **まずプラクティスを始めて**みて、そこから原則や価値に気づく場合
  - **価値や原則を理解した上**で、具体的なプラクティスを行う方がしっくりくる場合
- どちらが正解、というのはありません。
- 大事なのは**共有**していくこと。
- 悩むくらいならまずやってみればいいじゃん。

# プラクティスを共有しましょう

- この会社で実際に行われているプラクティスをいくつか紹介していきます。
- あくまで天野のまわりの例だけですので、いい事例を知っている方は、逆に**どんどん教えてください**。
- それぞれ、**どんな原則と価値に対応しているのか**、考えながら見てみると、新しい気づきがあるかもしれません。

# ソフトウェアかんばん



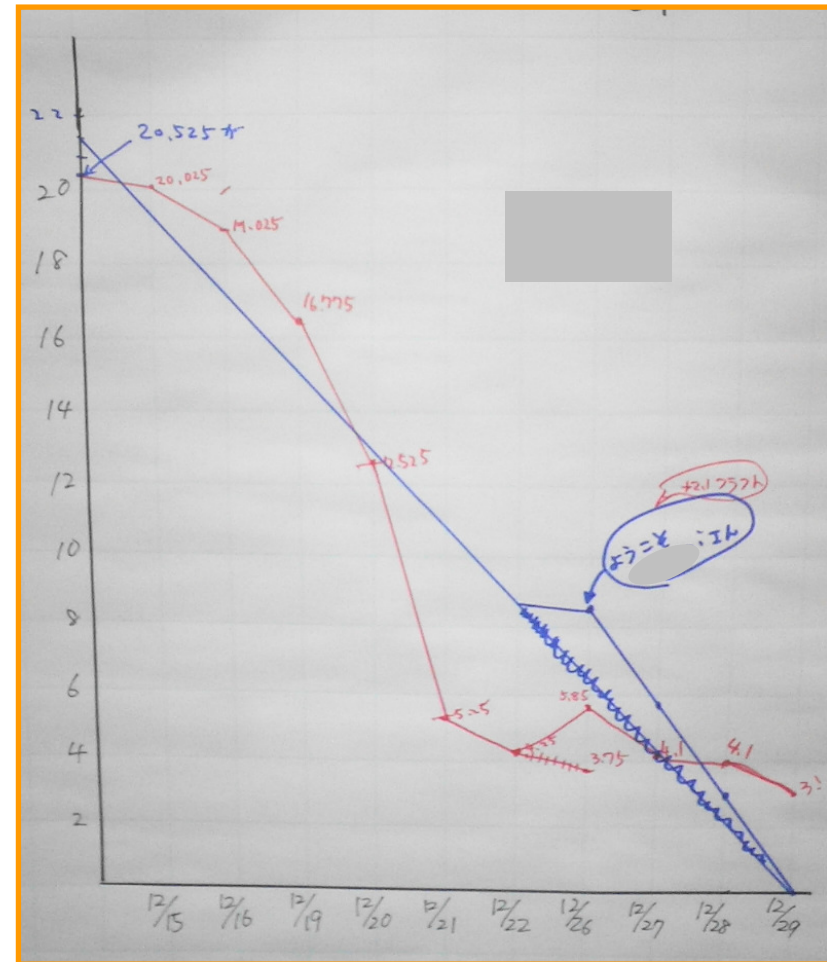
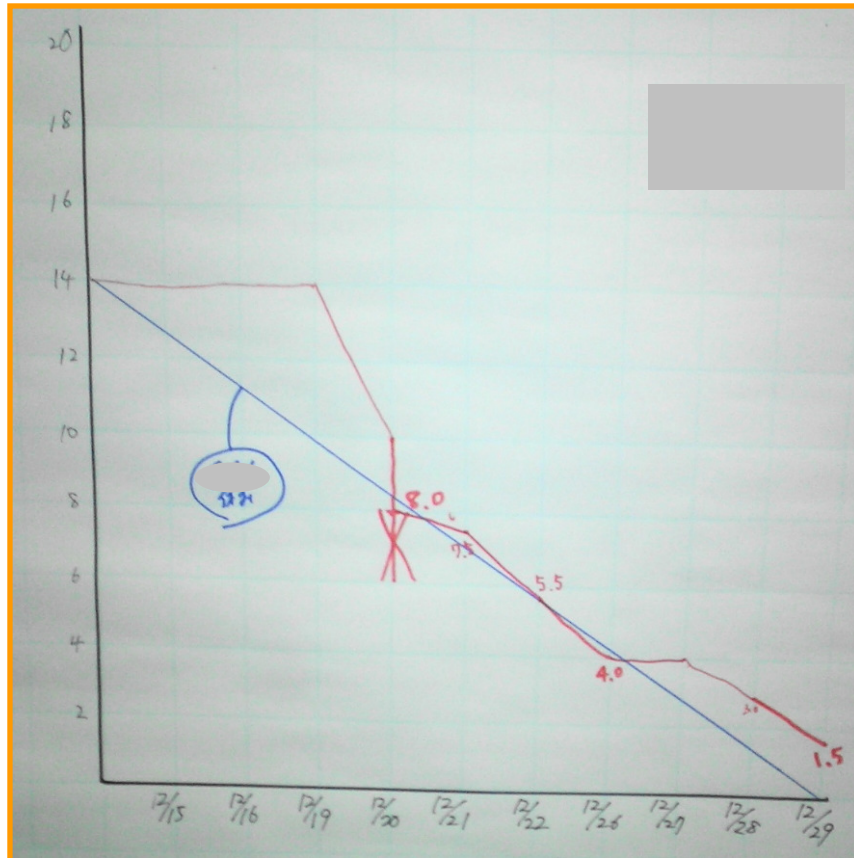
Rプロジェクトの「ソフトウェアかんばん」

# ニコニコカレンダー



[http://www.geocities.jp/nikonikocalendar/index\\_ja.html](http://www.geocities.jp/nikonikocalendar/index_ja.html)  
もご参照ください。

# バーンダウンチャート





# 今日のグッジョブ

- bear.miniさんの日報メールには、毎日「今日のグッジョブ」というコーナーがあります。

## ■今日のグッジョブ

華麗な PowerPoint さばきで Rプロジェクト一同を魅了し特に天野さんを感動させた Sさん、

\_( づ )  
フ    \    ( E ) グッジョブ!!  
      /    /

皆さん、今後は Sさんに PowerPointer の称号をつけて呼びましょう。  
(MS Pゴシックでご覧ください)

以上です。



# G-Pj. Good & New

- プロジェクトの Wiki ページの中にあります。
- 元ネタは以下です。
  - <http://www.kanshin.com/keyword-219165>

## Good & New !! †

- 元ネタ

日々の仕事の中で、「これいいなあ〜」とか「●●さんグッジョブ!」と思ったこと、あるいは「それ、新しいね」と感じたこと、つまり様々な **気づき** をここにメモしていきましょう。

気づきを皆にも知ってもらうことが重要なので、投稿者名は書いても書かなくてもOK。「良い気づき」はそれ自体が「グッジョブ!」です:-)

あ、ハッキリ言って Gazelle に関係ないこと、さらに言えば **プロジェクトに関係ないことでもウェルカム**です。

## 自由にポストしてちょ †

お名前:

コメントの挿入

- 幹さんが G-Project のソースも取得して、いろいろご意見を下さいました。GJI -- amano 2005-12-19 14:53:57 (月) **New!**
- 12/19 〇〇さんが朝の会の進行やってくれたそうです。4 queue! -- amano 2005-12-19 14:22:34 (月) **New!**
- 会議中に咳がしんどくなり、りんごを食べたらおさまりました。延べ3切れいただきました。おいしかったです〜。 -- 〇〇〇 2005-12-14 18:49:54 (水)

# 今週のMVP

- 毎週の定例ミーティングで、その週の Good & New の中から「今週のMVP」を選んで、拍手でたたえます。

=====  
先週の学級会で、××さんが朝の会について「毎朝元気に挨拶をするだけでも意義があるから、多少人数が多くなっても続けましょう」とコメントしました。いい意見だと思いました。  
=====  
11/28の朝の会で●●さんがあふれそうなことを早めに報告していた。これは重要。  
=====  
△△さんの12/1の日報より「宴会に気をとられて、昨日は送付できませんでした。」PLとしてあるべき姿だと思った:-)  
=====  
♪さんの力強い言葉「今日も実装しまくるぞー。」イイ！  
=====

これまでの MVP の例

# プロジェクトホームルーム

- PF 的な活動を懐かしいあの頃に見立ててオーガナイズ
  - 朝のスタンダップミーティングは「朝の会」
  - 中途join メンバーは「転入生」
  - イテレーション毎の KPT の場は「学級会」

☆ Kenji HIRANABE <hiranabe@esm.co.jp>to ProjectFacilit.

天野さん、  
平鍋です。

ちょっと思いついたのですが、「朝の会」「学級会」から連想して、

プロジェクト・ホームルーム

どうい概念を作ったらどうか、と思いました。「時間割の表」、「連絡帳」、  
習字で書かれた、「あいさつ」という額に掛かった文字、  
「交通安全の誓い」、「今月のめあて」、などなど、

ひんとが沢山みつかりそうです。

以上

---

# 今日は最後に

- 参加者共通の話題として、この会社に関して、**KPT** を**ワールドカフェ形式**でやってみましょう。
- 会社の愚痴を言い合うのが目的じゃないので、よろしく(^^;
- まず 2グループに分かれて 15分間。
- そして、それぞれを共有します。10分間×2。

---

# KPT とワールドカフェ形式

- Gプロジェクトでは学級会(KPTの場) をワールドカフェ形式で行って見たところ、従来よりもよい場となりました。
- KPT
  - Keep/Problem/Try の頭文字です。
  - この会社ではプロジェクトごとに行っている**ポストモーテムを、プロジェクト期間内にも繰り返し行っている**イメージです。
  - 岡島さんの記事を参照のこと。
  - <http://www.atmarkit.co.jp/farc/rensai/pl06/pl06.html>
- ワールドカフェ
  - 平鍋さんの Blog を参照のこと。
  - [http://blogs.itmedia.co.jp/hiranabe/2005/11/theworldcafe\\_99a1.html](http://blogs.itmedia.co.jp/hiranabe/2005/11/theworldcafe_99a1.html)

# お疲れ様でした

- 参加、ありがとうございました。
- 今日の勉強会自体に対する KPT を、後ほど Wiki にページを用意しますので、お願いします。  
(メールをします)
- これからも、いろいろなものをシェアして、技術力が  
高くて**楽しい**会社にしていきましょう。



## 質疑応答の中からでたトピックの補足

- PF的なプラクティスを行う上で、マネージメント層の人には、(特にネガティブな情報に関しては) **個人の評価には使わない**ことを、保障してもらいましょう。Safety であることが大前提です。
- 「見える化」は、見えることによって顕在化してきた事柄に対する **フィードバックが担保されて、初めて機能します**。見えて、お終いにならないようにしましょうね。

---

## References

以下に関わった全ての方に感謝いたします

- オブジェクト倶楽部のプロジェクトファシリテーションのページにある、各種ドキュメントは大いに参照／引用させていただいています。
  - <http://www.objectclub.jp/community/pf/>
- プロジェクトファシリテーションの ML でのディスカッションなくしては、この資料はなかったでしょう。特に「原則6: あなたにしか出来ない大事なこと」は、素晴らしいフィードバックでした。
  - <http://groups.yahoo.co.jp/group/ProjectFacilitation/>